

志桜小だより



カラー版を
ご覧ください。

10月号

学校ホームページ <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/shiozze/>

学校メールアドレス web-shio@hodatsushimizu.jp

ホームページは
こちらから

宝達志水町立志桜小学校

TEL 29-2052

FAX 29-2069

校長 宮下 慶子

めざす児童像 ○目標をもち 自ら進んで学び よく考える知恵のある子
○強く しなやかな心をもち 温かな人間関係をつくれる子
○困難に打ちかつ気力・体力のある子



令和7年度 後期 委員長・学級代表が 任命式で決意表明！



10月2日、任命式が行われました。
運営委員会や各委員会の委員長、6年
生の学級代表が全校に向かって**自分の
目標や決意**を堂々と伝えていました。
どの児童からも、新しい志桜小学校
を創るための**やる気と頼もしさ**が感じら
れ、ステージ下で見守る志桜っ子達の
気持ちも引き締まったようでした。

新委員の
紹介

【運営委員長】佐々木 蘭
【放送委員長】徳和 詩織
【図書委員長】高下 咲良
【美化委員長】豊田 百花
【環境委員長】板井由理子
【保健委員長】宮城 圭佑
【給食委員長】中村 清頼
【体育委員長】丸山 音愛

【学級代表】

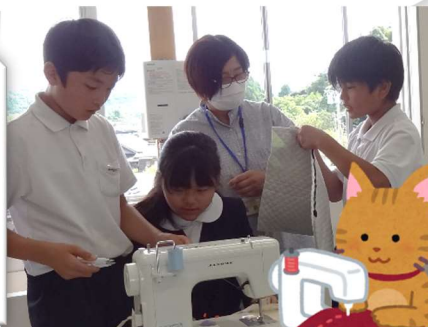
6の1 國井 海翔 佐々木 蘭
6の2 金曾 将人 北山 歩果
5の1 上田 遥希 林 小夏
5の2 眞田 大成 田上 絹夏
4 年 平野 幹大 豊田 千紗
3 年 山本 蒼登 階戸 心葉
2 年 山下 凌空 樋本 心
1 年 木村 奏陽 松田 咲愛

ミシンボランティアのみな様 ありがとうございます。



9月から、6年生の家庭科
の時間にミシンボランティア
の方々にお越しいただいてい
ます。6年生は、キルティン
グの布地でナップザック作り
に挑戦中！慣れないミシンに
悪戦苦闘している子ども達の
強い味方になってくださって
いるのがミシンボランティア
のみなさんです。時間延長し
てまで、子ども達に寄り添っ
てくださっています。ありが
たいことです。

いつも
ありがとう



図書室にタッチパネルパソコン導入！ 4～6年生は、自分で操作。貸出・返却スムーズ



志桜小学校の図書室での本の貸出や返却が、簡単なタッチパネル操作で手続きを行えるようになりました。

4～6年生は、自分で手続きをしたり、キーワードを入力したりすることで本の検索もできます。

県内の小学校では、初の導入とのことです。ゆくゆくは、子どもたちのタブレットから町図書館・学校図書室へアクセスし、本の検索や予約ができるようになるそうです。



1年	中橋	星里
3年	高橋	愛実
6年	豊田	希唯

おめでとう！

小学生動物愛護絵画 入選

シリーズ 非認知能力

志桜小学校では
子ども達の**非認知能力**を
大切に考えています。

非認知能力が高い人は
ストレスを
「こじらせない」

問題が起きたら「これくらいで済んでよかった」と
ポジティブな面にフィーチャー。起きたことには、シン
プル思考で淡々と対処。

趣味や好きなことを持っている。からだを動かしたり
人と話したりと、気持ちの切り替えがうまい人は、トラブ
ルへの対処も柔軟。

特性2 気分転換上手

特性3 基本ポジティブ

例えば、トラブルに対して「今の状況に対して
何が解決か」「では、解決にはどんな方法がある
か」と「今」や「先」を考える。

特性1 「今」を考える



志桜小学校では、開校とともに子ども達の「非認知能力」をすべての教育活動のベースにと考えています。
(子ども達には、上図の様に「3つの力」として伝えていきます。)

今回は、産業医 武神 健之さん(右写真)のコメントからの抜粋です。

「私は、産業医なので、企業に勤めるビジネスパーソンと面談しています。誰もが知るような
大手の外資系企業で働き、『すごい』と見られるような大人ばかりです。でも、学生時代に、
優秀な成績を収めていたにもかかわらず、**ストレス**を感じる場面では一気に元気をなくし、
心身ともに疲弊しきってしまう。逆に、成績は目立たなかったかもしれないけれど、**ストレス**を
はねのけてどんどん昇進していく…。このようなケースをたくさん見てきました。」(武神さん)

「**ストレス**に強い人と弱い人では、そもそも、物事のとらえ方が圧倒的に違う。…中略…子ども時代に大きな違いがあ
ることが分かってきました。…それは、簡単にいうと『仲間』『好きなこと』『没頭』、非認知能力が大きく関係するキ
ーワードです。…**非認知能力が高い人は、そもそも**ストレス**に『しない』『こじらせない』。そうなる前に対処**ができるから
なのです。つまり、非認知能力が高い＝**ストレス**を「はねのける、耐えられる」ということではないということです。たと
えば、**問題が小さいうちから対策を立てたり、助けを呼んだり**と、非認知能力が高い人は、こんなふうに**ストレスになる前**に
解決するなど、そもそも**ストレスを生み出さない**ようにできる。つまり、**ストレスに対処する『力』が『強い』**ということなの
です。」それには、他の人との協調性や切り替える力、想像力や柔軟性などさまざまな力が必要です。

「すなわち非認知能力ですね。**ストレスに強い大人の話**を聞くと、子ども時代の『**経験**』の中で非認知能力がしっかりと
と育まれていると感じます。」

